

見事！ 折り紙の パッチワーク



折紙師で関市卓越技能者の米光富雄さん（四季ノ台）が、市長のもとを訪れ、今年の干支である「うし」の折り紙作品を手渡しました。折り紙を始めて20年以上の米光さんは、現在は創作活動や折り紙教

室のほかに、中部学院大学短期大学部の講師も務めています。この日はこれまでに制作した「折り紙のパッチワーク」作品も披露していただきました。米光さんは今年8月で72歳、うし年の年男だそうです。

あんな事、こんな事



ママが作ったよ

本町2丁目のシルバー本町プラザ「とんてん館」でお正月用のしめ飾り作りが開催され、9組の親子が参加しました。講師は、新長谷寺初観音飾り馬保存会会長の平田勝高さん。参加者は、金時もちのわらをなつて円を作り、ササヤクチナシなどの飾りを付けてオリジナルのしめ飾りを作りました。このしめ飾りは、飾りを変えるだけでクリスマスリースにもなります。

文化交流の架け橋に

10月に友好都市である中国黄石市で開催された中国交流展に出品された関市文化協会会員の作品101点が、関市文化会館で「文化交流帰国展」と題し、12月3～7日の間展示されました。初日にはテープカットが行われ、柴田佳章副会長は「言葉の壁を越えて、作品を通してよりよい文化交流ができました」とあいさつしました。





伝統の鼓笛を引き継ぎ

安桜小学校で鼓笛の引き継ぎ終了式が行われ、保護者や見守りサポーターが見守る中、40年以上続く同校伝統の鼓笛が6年生から5年生に引き継がれました。鼓笛の引き継ぎは運動会終了後から始まり、84人の師匠（6年生）が100人の弟子（5年生）に、週1回の総合学習の時間や30分休み、昼休みを使って個別指導する形で行われてきました。

ぺったんぺったん！

12月13日、松溪保育園で年末恒例の餅つきが行われました。園児が声援を送る中、4臼の餅が次々と臼と杵でつかれました。年長児も大人に手伝ってもらいながら交代でつき、その後はつきたての柔らかいお餅にきな粉をつけておいしくいただきました。昔ながらに餅をつく家庭も少なくなってきたとあって、集まった保護者らも楽しそうに見守っていました。



ドラゴンズでの活躍に期待！

中日ドラゴンズに入団が決まった井藤真吾さん（武芸川町高野出身・中京大中京高校）が喜びの入団報告のため、尾藤市長のもとを訪れました。外野手を務める井藤さんは身長185センチと恵まれた体格で、バッティング技術に定評があります。開幕レギュラー入りが期待されます。プロ野球選手という郷土の誇り、市民の皆さんもぜひ応援をお願いします。

きれいな音色にうっとり

板取生涯学習センターで乳幼児学級のクリスマス会が開かれ、12組の親子と板取めばえ保育園の園児約20人が参加しました。クリスマス会では中部学院大学ハンドベル部の皆さんのすてきな演奏に、みんなうっとり聞き入っていました。また、お母さんたちによる劇もあり、アンパンマンのサンタさんから子どもたちはプレゼントを受け取り喜んでいました。



こぼれ話



昨年も市内の小学校へサンタさんがやってきました。サンタさんは、市内の男性Yさんで、8年前に母校へクリスマスツリーを寄贈してから、「子どもたちの喜ぶ顔を見るのが嬉しくて、止められなくなりました…」と、毎年行っているそうです。Yさんは、子どもたちが帰る時間を見計らって学校へ来て、高さ2.4メートルのクリスマスツリーを飾りつけて帰って行きます。このさり気ない善行は、学校でも大歓迎され、学校長は「子どもた

ちが非日常的な体験をできたことが、とてもありがたい。ツリーが飾られた翌朝の子どもたちの大歓声には、大人まで嬉しくなります」と目を細められました。

昨年は、子どもも大人も理由も無く無差別に殺害され、驚きの連続でした。わが街にそんな悲惨な出来事はなくても、凶器に刃物が使用されることも多く心が痛みました。今年は、身近なところでサンタのYさんのように、さり気ないサプライズを企てられるような年にしたいものです。